

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2022年4月分)

2022年5月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[シュミット上級代表によるRS資産関登記連法に係るボン・パワー行使\(12日\)](#)

●[ウクライナ避難民に対する入国・滞在措置の条件緩和\(20日\)](#)

●[BH南西部を震源とする地震の発生\(22日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

イ. スルプスカ共和国(RS)

●[ドディック大統領評議会メンバー・ツビヤノビッチRS大統領に対する英国の制裁\(11日\)](#)

●[ドイツによるRS向けインフラ支援案件の一時停止\(19日\)](#)

2. 外政

(1) 二国間関係

●[米国上院外交委員会代表団のBH訪問\(20日\)](#)

●[ドンフリード米国務次官補のBH訪問\(27日\)](#)

(2) 日・BH関係

●[日本政府による脱炭素化・気候変動適応策支援のための資金供与\(6日\)](#)

●[伊藤大使のBH民生省訪問\(6日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標

(2) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

(注:この月報は、当地紙報道などの公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●シュミット上級代表によるRS資産登記関連法に係るボン・パワー行使(12日)

シュミット上級代表はボン・パワーを行使し、国民及び投資家に対する否定的な法的影響を防ぐためとして、憲法裁判所の判断が下されるまでの間、RS資産登記関連法の発効を停止した。また、憲法裁判所の裁定に基づき、BH国有資産分配一時禁止法(国有資産管理法制定までの間、国有資産の一方的な登記変更を禁じる法律)の対象を森林、河川、農地等も含めたものに拡大した。

●ウクライナ避難民に対する入国・滞在措置の条件緩和(20日)

BH閣僚評議会は、治安省の提案を基に、ウクライナにおける治安情勢を理由とする人道的措置として、6か月までのBH一時滞在許可(延長可能性あり)、有効な、または期限切れの文書(旅券、IDカード等)の提示(18歳未満については出生証明の提示のみで可)による入国許可、新型コロナウイルスに係る証明文書(陰性証明、ワクチン証明、回復証明)の提示免除等、ウクライナ国民のBH入国及び滞在条件を緩和する決定を行った。

●BH南西部を震源とする地震の発生(22日)

4月22日午後11時7分、BH南西部ストラツ近郊を震源地とするマグニチュード5.7の地震が観測された。南西部ヘルツェゴビナ地方のほか、首都サラエボなど国内広範囲で揺れが感じられた。

地震により、ストラツにおいて落石が家屋を直撃し、重傷を負った1名の死亡が確認されたほか、各地で軽傷者が複数人報告された。

(2) エンティティ、特別区

イ. スルプスカ共和国(RS)

●ドディック大統領評議会メンバー・ツビヤノビッチRS大統領に対する英国の制裁(11日)

英国政府は「BHを不安定にする活動」等を理由に、ドディックBH大統領評議会セルビア系メンバー及びツビヤノビッチRS大統領に対し、渡航禁止・資産凍結を含む制裁を科すことを発表した。

●ドイツによるRS向けインフラ支援案件の一時停止(19日)

ドイツは、デイトン和平合意及びBH憲法違反、及び、BH国家機関を機能不全に陥らせたとして、ドディック大統領評議会セルビア系メンバー及びRS当局指導者への制裁の一環として、RSにおける総額1億500万ユーロのインフラ支援案件(トレビニェ水力発電所改修工事案件フェーズⅢ、同改修工事案件フェーズⅣ、フルグド風力発電所案件、グラディシュカ下水案件)の準備作業を一時停止した。一時停止はRS国民議会の違憲的決定が撤回され、(RSによる)国政ボイコットが終了するまで継続される。

●シュミット上級代表の決定等に対する抗議集会(20日)

RSの中心都市バニャ・ルカにおいて、シュミット上級代表によるRS資産登記関連法の発効停止に係る決定等に反対の意を表明する抗議集会がRS退役軍人協会の主催で行われた。報道等によると参加者は約1.6万人以上であったとのこと。

抗議集会には、ドディック大統領評議会セルビア系メンバー、ツビヤノビッチRS大統領、

ビシュコビッチRS首相等、多くのRS政府要人が参加した。RS野党勢力は、与党SNSDが抗議集会を裏で操り、退役軍人協会を悪用していると批判した。

2. 外政

(1) 二国間関係

●BH・UAE外相電話会談(11日)

トウルコビッチ外相はアブダラーUAE外務・国際協力相と電話会談し、二国間関係、経済協力強化等、とりわけ観光分野の協力及び査証免除問題につき意見を交わした。

●リンデ・スウェーデン外相のBH訪問(12日)

BHを訪問したリンデ・スウェーデン外相は、大統領評議会メンバー(ジャフェロビッチ議長、コムシッチメンバー)及びトウルコビッチ外相と会談を行い、二国間関係、BHのEU加盟、ウクライナ情勢等につき意見を交わした。

●米国上院外交委員会代表団のBH訪問(20日)

BH訪問中の米国上院外交委員会代表団(クリス・マーフィー議員、ジーン・シャヒーン議員、トム・ティリス議員)は大統領評議会の3メンバーと会談し、二国間関係、BHのEU加盟、BH総選挙、EUFOR任期延長、ウクライナ情勢等につき意見を交わした。

●ドンフリード米國務次官補のBH訪問(27日)

BHを訪問したドンフリード米國務次官補(欧州・ユーラシア担当)は、ジャフェロビッチBH大統領評議会議長及びドディック同セルビア系メンバーと会談し、BH情勢、改革プロセス、二国間関係、BH総選挙、EUFORミッション等につき意見を交わした。そのほか、シュミツ

ト上級代表、ポジッチ国防相等とも会談した。

(2) 日・BH関係

●日本政府による脱炭素化・気候変動適応策支援のための資金供与(6日)

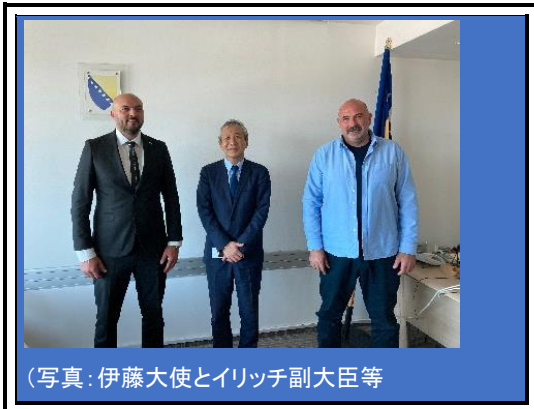
伊藤駐BH日本国大使は、当地UNDPネデラ代表、ピシヨ同副代表及びチュバツ同エネルギー・環境課長と会談した。本件会談にて、BHの排出削減目標の早期実現等、BHの脱炭素化・気候変動適応策を支援すべく、日本政府が資金を供与することについて公式に発表された。



(写真: 伊藤大使とネデラ当地UNDP代表)

●伊藤大使のBH民生省訪問(6日)

伊藤駐BH日本国大使は、BH民生省を訪問し、イリッチ副大臣と、教育・健康・スポーツ・文化等、同省の管轄分野におけるBHと日本の協力について意見交換を行った。



3. 経済

(1) 経済指標

●GDP成長率

2021年第4四半期(10月～12月)の国内GDP成長率は7.5%となり、季節調整後の数値で同年第3四半期から1.7%増加した。

●産業生産指数

2022年3月の産業生産指数は、季節調整後の数値で前月比4.2%のプラス、前年同期比では7.0%のプラス。

●貿易収支

2022年第1四半期(1月～3月)の輸出総額は42億9200万KMで前年同期比+43.1%。輸入総額は62億9900万KMで前年同期比43.1%。輸出額から輸入額を引いた貿易収支は20億700万KMの赤字。

●雇用／失業率

2022年2月の失業者登録者数は37万5689人(うち女性21万5689人)で、前月比0.4%プラス。前年同期比で-8.5%マイナス。

●平均給与

2022年2月の平均給与(手取り)は1.059 KMで、2021年12月比で1.6%のプラス。

●消費者物価指数

2022年3月の消費者物価指数は前月比2.8%のプラス。

●観光客数

2022年3月にBHを訪れた観光客数は8万3,472人で、前月比12.3%のプラス。

(2) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

●EU加盟のための民主主義強化支援(19日)

EUは、西バルカン・トルコのEU加盟に向けたガバナンス強化、法の支配、汚職対策等の改革を支援するため、1800万ユーロ規模の新規支援を行う旨発表した。

●EU、BHの高速道路建設に追加投資(27日)

EUは、BHにおけるコリドーVc高速道路建設プロジェクトに追加で4500万ユーロを拠出する旨発表した。今般の追加投資は現在建設中のポプリクシェーネミラ区間及びイバン・トンネルに対して充てられる見込み。上記道路は、クロアチアのプロチェからハンガリーのブダペストを結ぶ道路の一部をなす予定。